

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

神戸市立夢野の丘小学校

## 【取組内容⑤】 教員専用ポータルサイト (SharePoint) における実践事例の共有

下の写真のように、神戸市の教員向けに事例を数多く共有している。

小学1年 算数 【発表名】 わかりやすくしりしりよう

【目標】 ものの構造を理解し、簡単な操作や応用を図ることができる。 【活用したツール】 学習支援ソフト

【授業の内容など】  
①大書きの異なるイラストの数の比較を分かりやすくするために、数値の差分を考える。  
②数値上で、自分が考えた方法を紹介し合い、異なるものの切り取りを行う。  
③イラストを元に算数問題を導き出す。

④タブレット上でイラストを操作することで、両数を正確に一致させることができる。  
⑤数値と異なった状態を導き出し、どこが異なるのか、どこが異なるのかを自然と理解することができる。  
⑥数値の異なるものを数値のラインに移動することで、1単位でも異なる状態を確認することができる。

小学1年 生活 【発表名】 いきものたすき

【目標】 生き物の様子を見ることが出来る。 【活用したツール】 学習支援ソフト

【授業の内容など】  
【事前】 生き物の写真を取り、カメラ機能で撮影する。  
【本時】 写真の撮影方法、それを共有する。自分が発見したものを発表・交流する。

学習支援ソフトに撮影した写真を、簡単に「学習支援ソフト」にアップロードし、共有することができる。写真を共有することで、先生も共有して見ることが出来る。

一定量以上の写真の共有を確認し、共有が完了したら、共有の共有を確認する。実際の共有を確認することで、共有の共有により共有の確認が完了する。

小学3年 国語 【発表名】 響のくらし

【目標】 響に関する書籍を読み、響から響を感じる。 【活用したツール】 学習支援ソフト

【授業の内容など】  
グループで、「響をイメージした言葉」を「学習支援ソフト」に登録する。それを資料集の中で探して、その響を感じて共有する。「響をイメージした言葉」を共有する。共有した言葉について、グループで共有する。

【効果】  
・ノートに書くよりも、グループでの共有のスムーズにできる。  
・同じように共有する必要がある。共有もやり直しができる。共有もやり直しができる。  
・共有もやり直しができる。共有もやり直しができる。  
・共有もやり直しができる。共有もやり直しができる。

小学4年 特別活動 【発表名】 係活動を充実させよう

【目標】 クラス内の交流を促進するために、自分たちで考え、行動することができる。 【活用したツール】 Teams, Word, Forms, PowerPoint

【授業の内容など】  
このクラスの係活動は、係活動で学習支援ソフトを活用してあり、児童自身が考えればより高い活動になるかを考えながら様々なツールを使用しています。  
Formsでのアンケートでは、やりたいことなどのアンケートだけでなく、活動の進捗やアンケートを助けて次の活動に活かそうとする係も共有されました。  
このツールを使用するにあたって、個人情報が含まれないよう、必ず先生がチェックを行っています。

小学4年 国語 【発表名】 思いやりのデザイン

【目標】 紙芝居を通して、段組相互の関係を伝えることができる。 【活用したツール】 学習支援ソフト

【授業の内容など】  
段組ごとに並び替えられ、学習支援ソフトを使用し、児童が並び替えを行う活動。違う児童が出てきたときに、比較しながら段組相互の関係を学習させます。  
デジタルで動かすことにより、何箇所も並び替わることができ、表紙との比較も容易になります。比較が容易なため、児童から資料集を共有する。先に個人発表を行いました。このことで、「いっぽう」や「このように」などの言葉に注目しながら、段組の関係を伝えさせることができるアプローチの一つとなっていました。

小学4年 国語 【発表名】 響のうた

【目標】 紙芝居の様子を思い浮かべたり、かえるの法則を認識したりしながら発表することができる。 【活用したツール】 Teams

【授業の内容など】  
響のうたを打ち込み、Teamsの発表機能を使用しました。  
AI判定による発表機能で、発表の判定・分析は全てコンピュータが行います。発表すべき順番は順番も繰り返して練習するようにしています。発表を込めて読んでいる児童や、声のトーンや話のスピード、時間を工夫しながら発表する児童が見られました。  
発表としても活用することができます。

小学5年 理科 【発表名】 メダカのたんじょう

【目標】 メダカの種類の体の特徴などを観察し、結果を適切に記録することができる。 【活用したツール】 学習支援ソフト

【授業の内容など】  
メダカの手すりとめくろの長分けについて、気づいたことを適切に書き込む。  
提出したノートを児童同士が確認できるよう設定し、感想の考えと聞いているところを確認。

【工夫】  
メダカのは、配布時に印刷化しておくことで、誤操作が起きないようにした。

【効果】  
・資料集に当たっている見やすい発表用カードの活用が出来る。  
・ノート提出が、児童同士の間で共有出来ること。クラス委員の発行を共有したり、考えの比較、分析がスムーズになる。  
・ノートの共有が、児童同士の間で共有出来ること。クラス委員の発行を共有したり、考えの比較、分析がスムーズになる。

小学5年 理科 【発表名】 植物の成長と成長（第11時/13時）

【目標】 植物の成長について、実験結果をもとに条件と関係づけを考察し、表現することができる。 【活用したツール】 学習支援ソフト

【授業の内容など】  
学習支援ソフトを活用し、実験結果の植物の成長を比較、気づきを出し合い、交流した。  
植物の成長を共有ノートに貼って共有することで、児童が簡単に成長を比較することが出来る。また、発表ノートを通じて共有する際、文章を書く量が少なかったため、共有のノートを書くことにより共有することが出来る児童が増えました。

小学5年 理科 【発表名】 ヒトのたんじょう

【目標】 ヒトが体内で成長していくようについて調べた結果を適切に記録することができる。 【活用したツール】 インターネット 学習支援ソフト

【授業の内容など】  
「ヒトは、成長の体内でどのように成長しているのだろうか」という質問に対して、インターネットを使って調べ、分かったこと・感想を「学習支援ソフト」でまとめた。

インターネットを通じて、検索機能でインターネット上で調べた結果を共有することが出来る。  
Webサイトの検索機能を利用して、調べた結果を共有することが出来る。共有する結果を共有した。

・タブレットで調べた結果を共有することが出来る。  
・共有の結果を共有した。